

令和7年度第1回 水道工事担当者研修会 質疑応答

研修内容	【施工管理基準等の改正について】
質疑①	舗装復旧の延長（出来形）を数値が大きいリボンテープで撮影とありますが、20m（1測点）のリボンテープを購入し出来形検測写真を撮影しなくてはならないのでしょうか？ 巻尺ではダメということでしょうか？
回答①	ご質問ありがとうございます。舗装復旧における延長（出来形）の写真管理について、検測用リボンテープを指定するものではありません。数値確認できるように写真管理をお願いするものであり、巻尺等を活用し、管理いただいて構いません。ご理解願います。

研修内容	【上水道管路更新工事における新たな更新手法について】
質疑②	内容で、工事担当者では判断できない部分もあります。（例 IV実施スキームなど）。組合を通じて経営者にも通知願います。
回答②	本研修会でご説明した「設計工事監理一括発注方式（フル管路DB方式）」は、今後の管路更新事業における新たな発注手法として検討しているものであり、その導入にあたっては、設計・施工両面で、受注者の皆様のご理解とご協力が必要であると認識しております。今後の導入段階においては、関係者の皆様へ十分な情報提供と理解促進を図ってまいります。
質疑③	9頁について。想定効果が良いことしか記入されていないが、リスクについてはないのか？ メリットばかりでデメリットはないのか
回答③	ご質問ありがとうございます。ご指摘のとおり、資料9頁ではフル管路DB方式の想定される効果を中心に記載しておりますが、資料12頁の「工事監理に関する考察」にて以下のようなデメリットや課題について挙げております。 <ul style="list-style-type: none"> ・発注者側が監理業務を担う場合、技術職員の技術継承の場の確保といった利点がある一方で、業務の効率化に繋がらないなどのデメリットがある。 ・受注者側に委ねた場合には、設計者と現場間の連携による施工管理水準の強化や工程調整がスムーズに行えるなどの利点の一方で、業務不備による工物品質低下などのリスクの恐れがある。 本市としては、こういったリスクや課題について適切な対応を図れるよう検討してまいります。
質疑④	11頁について。地元企業が参画できるようになっているが、主体となる形とはならないのか？
回答④	フル管路DB方式では、設計・工事・監理を包括的に担う能力が求められることから、受注体制としては一定の規模や実績を有する企業が代表となるケースが想定されます。 今後、ヒアリングなどにより、地元企業が様々な形で参画しやすい形となるよう検討してまいります。なお、従来の地元企業主体の発注（従来方式・小規模DB方式）も並行して継続してまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

令和7年度第1回 水道工事担当者研修会 質疑応答

研修内容	【建設業の働き方改革について】
質疑⑤	<p>・建設業の人材不足や人材育成は、当社に限らず発注側も含めた業界の最大の問題となっており、改革の取組みについても努力しているところです。週休二日制についても大いに賛同するところではございますが、公共事業について土日現場休工し、会社自体も休みとしたいところではあります。民間事業ですと会社出勤のため土日施工の依頼等の問題もあり、企業としてなかなか完全週休二日制の問題に苦慮しているところがございます。</p> <p>前置きが長くなりましたが、テキストQAを拝見しました。その中で現場にての作業を伴わなければ認めるとのことですが、発注案件によっては路線や作業箇所の複数ある箇所、作業を伴わない重機や資材移動等のいわゆる準備工の扱いはどうなるのでしょうか？ 回答願います。</p> <p>また発注案件では〇〇工事外と複数箇所の工事もあります。その際も案件としては1つの工事として4週8休対象となるのでしょうか？</p>
回答⑤	<p>・現場着工日（現場に継続的に常駐した最初の日）から現場完了日（施工期間内で全ての作業（後片付けを含む。）が完了した日）までの対象期間において、重機や資材等の移動は、原則として現場閉所とはなりません。</p> <p>重機や資材等の移動は、現場作業の一環として行われることが多いため、現場作業が完全に休止している状態とは言えません。</p> <p>・1工事で施工箇所が点在する場合、現場閉所を行う際は、全ての施工箇所を同日に閉所しなければ、現場閉所日として認められません。</p> <p>週休2日工事の適用は、発注単位となりますのでご注意ください。</p>
質疑⑥	<p>施工の品質と週休二日の内容がかち合った場合、とれる対応はあるのでしょうか。</p>
回答⑥	<p>・週休2日工事における品質管理と工程管理は、工期の遵守と品質維持の両立を目指す重要な要素です。</p> <p>そのため、品質管理では、週休2日を確保しながら、品質基準を満たすために必要であれば休日（現場閉所）の振替等を行い対応をしていただくようお願いします。</p> <p>工程管理では、週休2日の影響を考慮した上で、工期を確保し、効率的な工程計画を立てていただくようお願いします。</p>
質疑⑦	<p>週休を含めた先の期間を延長可能でしょうか。（先に休みの期間をとっておく。先取り）。現場着手を早くするなど（補助金が認められなくなる恐れがある？）</p>
回答⑦	<p>・実施要領の第8条にありますように4週8休以上（週休2日）の確保を事由とした工期の変更は行わないこととしております。</p> <p>・先取りや、駆け込みで現場閉所を行った場合でも週休2日と認められますが、「週休2日工事」による発注の趣旨を踏まえ、工程計画を立てていただくようお願いします。</p> <p>・補助事業の条件等がある場合は、発注課の監督員に確認してから、現場着手していただくようお願いします。</p>

令和7年度第1回 水道工事担当者研修会 質疑応答

【その他質疑事項等】	
質疑⑧	サブスク的な工事情報の共有ができるとありがたいです。 例：以前にやった工事の時は、現場事務所や資材置き場は〇〇を使った。 地域の特性など。
回答⑧	ご意見ありがとうございます。工事を履行する上で、過去の工事に関する情報等は、受注者・発注者双方にとって有益であり、より円滑な工事遂行や地元対応の向上にも繋がるものと認識しております。当該工事に必要な情報に関しては、工事受注後の事前打合せにおいて共有を図ってまいります。
質疑⑨	これまでの工事で必要性の低い管理項目を見直してみてもいいですか？ 例：DIP管へのロケーティングワイヤーについて。以前は、RRHIVPやVP管への施工でしたが、DIPにも施工するようになりました。通電して埋設位置を確認するようなことってありますか？ 写真（埋設位置を撮影したの）があれば必要ないと思います。
回答⑨	ご意見ありがとうございます。働き方改革の取り組みの趣旨を踏まえ、工事管理の省力化の取り組みを検討してまいります。 なお本市におけるロケーティングワイヤーについては、水道管に合わせて、布設することで水道管の埋設位置を特定し、維持管理する業務展開を行っております。将来にわたり、水道管を維持するために、管路情報の特定は必要不可欠であることを踏まえ、工事における施工管理を行うことへご理解願います。
質疑⑩	管路DBを実施し、契約5年度（終了後）の組織の活用についてお考えがありましたら教示願います。
回答⑩	ご意見ありがとうございます。契約終了後の組織の活用については、現在のところ検討しておりません。今後、事業を進めていく中で、検討すべき内容と判断した際は対応してまいります。
質疑⑪	公告から入札書提出までの期間が短く、社内での高精度の実行予算の作成が困難になりつつあるため、可能でしたら、市発注の工事の中にある見積単価は公表していただけますか
回答⑪	現在、本市が発注する工事において、見積単価は「非公表」として取り扱っておりますのでご理解ください。

令和7年度第1回 水道工事担当者研修会 質疑応答

質疑⑫	遠隔臨場については、工事受注の際には活用したいので。細かなやり方を知りたい
回答⑫	遠隔臨場については、施行要領をホームページに掲載しておりますのでご確認ください。 また、遠隔臨場の詳細については、契約後、監督員に確認してください。 なお、遠隔臨場は、土木工事が対象であり、建築関係工事は対象外としております。